

11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

| 分野 | 景気の先行き判断 | 業種・職種 | 景気の先行きに対する判断理由 |
|----------------------------|-------------|---|--|
| 家計 動向 関連 (九州) | ◎ | － | － |
| | ○ | 商店街（代表者） | ・4月にはインバウンドの船が多数寄港する予定になっているため、その効果に期待している。 |
| | ○ | 家電量販店（従業員） | ・先週から新生活に向けての家電の購入が一気に増えている。 |
| | ○ | 乗用車販売店（役員） | ・4月に税制改正の施行開始が決定すれば、一気に販売量が増えると思込んでいる。 |
| | ○ | 一般レストラン（スタッフ） | ・当市が発行するプレミアム付商品券により一時的に消費が増加すると見込まれ、来客数は多少増加する。 |
| | ○ | 都市型ホテル（スタッフ） | ・ゴールデンウィークなどのイベントが多い時期は、市況は盛り上がり、需要が活性化する。また、連泊での利用も国内客やインバウンドを見込めると予想している。 |
| | ○ | タクシー運転手 | ・旅行客の増加傾向やタクシー料金の値上げで、売上は上向きになると予想している。 |
| | ○ | タクシー（統括者） | ・稼働台数が増加した分、売上も増加するため、景気は若干良くなる。 |
| | ○ | 通信会社（社員） | ・従業員のモチベーションを高める施策によって、売上増加につながると考えている。 |
| | ○ | 美容室（経営者） | ・これからの景気回復は難しい状況であるが、世界情勢によっては、2～3か月先に急に原油価格が落ち着き景気回復につながることも考えられる。 |
| | ○ | その他サービスの動向を把握できる者（所長） | ・中東情勢で難しい状況ではあるが、客との協議で新年度の委託費の値上げ等の了承もあり、景気が良くなるのが期待できる。 |
| | □ | 商店街（代表者） | ・小規模小売業の商店街全体で低迷が続いているため、景況は良くない。商店街から大型ショッピングセンターに客が流れている。商品が低価格であるため、売上は従来より低くなっている。物価上昇の多くは食料品等で、衣料品等は低価格のままであるため、景気は変わらない。 |
| | □ | 商店街（代表者） | ・全体的な物価上昇やイラン情勢の行方を不安視している。ベースアップで収入が増えても物価上昇で支出が大きくなるため、現状より若干悪くなる可能性がある。 |
| | □ | 商店街（代表者） | ・景気回復は収入が増えなければ見込めず、原油の値上がりで物価は更に上昇するとみられるため、消費はより慎重になると危惧している。 |
| | □ | 商店街（代表者） | ・賃上げについて、大手企業の回答は明るい状況だが、地方では余り話題にならない。中東情勢による影響が大きいため、まだ景気は上昇せず懸念される。 |
| | □ | 商店街（代表者） | ・商店街の専門店が客が減少しており、今後も苦戦が続く経営となる。 |
| | □ | 百貨店（経理担当） | ・エネルギー価格の上昇に伴い消費者物価の上昇も想定されるため、客の節約志向は続き、今後の売上に期待できない。 |
| | □ | 百貨店（リーダー） | ・今月は春の異動に伴う贈物やイベントにおける春物の婦人服、バッグに動きがあり、景気が良い傾向にある。今後はゴールデンウィークで需要が高まると予想され、今月と同様の動きになる。 |
| | □ | スーパー（店員） | ・賃上げが大手だけでなく中小企業まで行き渡らなければ景気が変わることはない。 |
| | □ | スーパー（総務担当） | ・消費者の生活防衛、節約意識の強まりはますます厳しさを増し、具体的な景気対策が実際に施行されなければ、業界を取り巻く景気はなかなか良くならない。 |
| | □ | コンビニ（経営者） | ・国際情勢を起因とした石油問題などの不安要因はあるものの、客の消費マインドに大きな影響を与える状態にはなっていない。 |
| □ | 衣料品専門店（取締役） | ・3か月後も何も良くなる兆しがみえない。不安定な世界情勢は続き、内政も決まっていないため、引き続き節約や投資などに頼らざるを得ない状況である。 | |
| □ | 家電量販店（店長） | ・物価高の流れが止まらなければ消費は回復しない。 | |
| □ | 家電量販店（店長） | ・来客数、客単価は共に苦戦している。景気が回復するための要素が見当たらない。 | |

| | | |
|---|--------------------|--|
| □ | 乗用車販売店（代表） | ・景気が変わる要因が見当たらない。 |
| □ | 住関連専門店（経営者） | ・円安が進み、中東情勢は収束しないため、石油の輸入に深刻な影響が出ている。物価が上昇し先行きが不透明である。 |
| □ | 住関連専門店（従業員） | ・当市では、3月30日からプレミアム付商品券利用が開始されるが、額面も低く、使用できる店舗数が非常に多いため、当店への波及効果は余り期待できない。 |
| □ | その他専門店〔コーヒー豆〕（経営者） | ・異動関係は一段落し、4月からは新規客が増加する傾向にあるが、増加件数は予想がつかないため、前年と変わらないと考えている。 |
| □ | 観光型ホテル（専務） | ・世界情勢の影響により景気動向が全く分からないため、景気が良くなることを願っている。 |
| □ | 観光型ホテル（総務） | ・当面の間、現状で推移すると見込んでいる。 |
| □ | 旅行代理店（統括者） | ・景気の変動により、渡航先動向の変化や旅行単価の上昇が考えられ、前年比の傾向値に大きな変化がみられない。 |
| □ | タクシー運転手 | ・タクシーの運転手不足により、車体台数のフル回転が難しくなっている。 |
| □ | 通信会社（企画担当） | ・来年度に向けた見積り依頼や相談は一定数みられるものの、現時点では具体的な発注時期や案件の動きが見えにくい状況である。顧客の投資判断にも大きな変化はなく、2～3か月後についても販売量は現状と大きく変わらない。 |
| □ | 通信会社（営業担当） | ・消費拡大の起爆剤となるような話題がないため、景気は変わらない。 |
| □ | 通信会社（企画担当） | ・光回線の需要に影響するような要因が見当たらない。 |
| □ | 通信会社（役員） | ・燃料費の高騰が改善されると、地域経済は変わらず推移していくと考えている。 |
| □ | テーマパーク職員 | ・国内客の減少傾向が続いている。 |
| □ | 競馬場（職員） | ・競馬が盛り上がるシーズンとなるが、不安定な世界情勢を背景に余暇事業である競馬の売上の伸びは不透明である。 |
| □ | 美容室（店長） | ・様々な物の値上げで消費者は不安になるため、景気が良くなるとは考えられない。 |
| □ | 学習塾（従業員） | ・客からの問合せが少ないため、2～3か月先の売上につながらない状況である。 |
| □ | 住宅販売会社（従業員） | ・2026年度も住宅補助制度や住宅ローン減税の継続はあるが、資材価格の高騰等による建築費増加により、中古物件の検討や他社との競合等で厳しい状況が続く。 |
| ▲ | 商店街（代表者） | ・4月までは年度初めの商戦があるため景気は上向きである。しかし、その状況はゴールデンウィーク前までと推測され、以降の景気は減退すると予測している。 |
| ▲ | 商店街（代表者） | ・イラン情勢やウクライナ情勢が長引くと石油製品など高騰し、売上が若干悪くなると予想されるが、事態が沈静化されると状況はやや回復する。 |
| ▲ | 一般小売店〔精肉〕（店員） | ・現時点でも原材料が高騰しているが、更に原油価格高騰の影響が原材料の価格にも響くため、景気は悪くなる。 |
| ▲ | 一般小売店〔茶〕（販売・事務） | ・減税措置を検討しているが、多少の減税では財布のひもは緩くならない。また、円安で物価高騰は続き、売上は伸びていないため、早めの経済対策を期待したい。 |
| ▲ | 百貨店（企画担当） | ・梅雨に入り、大きなモチベーションがなく、クリアランスセール待ちが増えると予想している。 |
| ▲ | 百貨店（企画担当） | ・イラン情勢による原油の影響が、悪影響を及ぼすと予想される。 |
| ▲ | 百貨店（企画担当） | ・イラン情勢が不安要素となっている。政府の対策としてガソリン補助金などで消費低迷の要因が緩和されるものの、先行きが見通せないため消費動向は悪くなる。 |
| ▲ | 百貨店（営業企画担当） | ・補助金等の一時的な経済対策では、抜本的な消費意欲の向上にはつながらず、節約志向は継続する。 |
| ▲ | 百貨店（業務担当） | ・物価が上昇しているが、それは一時的な上がり方ではなく高止まりしたままである。先行きを懸念している客がここ数年で1番多いため、今後の消費行動に多大な影響が出てくる。 |
| ▲ | スーパー（店長） | ・イラン情勢の影響はまだ続くと予測されるため、更なる物価高騰につながり、景気後退になると予測している。いかにコストの高い商材を販売できるかがポイントになる。 |

| | | |
|---|-----------------------------------|--|
| ▲ | スーパー（店長） | ・中東情勢の不安から、より一層の物価上昇が懸念される。一時的な給付支援や減税では根本的な解決にはつながらず、景況感は悪化していると考えている。 |
| ▲ | スーパー（企画担当） | ・イラン情勢に左右されるとみられる。政府の備蓄放出や補助金によりガソリン価格を抑えているが、依然として高水準に変わりなく回復は見込めない。 |
| ▲ | スーパー（経理担当） | ・このまま原油価格高騰が続くと、あらゆる商品が値上がりし、景気は悪化すると推測している。 |
| ▲ | スーパー（従業員） | ・イラン情勢や人材不足などで経済が不安定となっており、小売や流通業の度重なる値上げで今後の景気は悪くなっていく。 |
| ▲ | コンビニ（経営者） | ・物価高の影響により、価格が高いコンビニでの買物は敬遠されている。 |
| ▲ | コンビニ（経営者） | ・生活防衛意識は更に高まり、よりリーズナブルな業種に流れていくと危惧している。 |
| ▲ | コンビニ（経営者） | ・中東情勢による原油価格の高騰でガソリンやその他エネルギー価格が上昇し、個人や企業の経費増加につながり、一般消費は落ち込む。 |
| ▲ | コンビニ（経営者） | ・客の購買意欲に変化がある。原因は商品単価の大幅な値上げや物価上昇である。商品によっては、前年の150%から200%に値上げされており、客の買い控えが見受けられる。 |
| ▲ | コンビニ（エリア担当） | ・燃料費の高騰が生活に直接影響を及ぼすと予想している。 |
| ▲ | コンビニ（店長） | ・イラン情勢の影響が、多方面にわたり多大に現れている。 |
| ▲ | コンビニ（エリア担当・店長） | ・来客数が伸長する要因はなく、人件費も上がっているため利益が増えない状況である。全体的に物価が上昇しており、買い控えが進むことを危惧している。 |
| ▲ | 衣料品専門店 | ・未だ改善をするような具体的な事柄がない。 |
| ▲ | 家電量販店（従業員） | ・先行きが見通せない世界情勢のなか、今後も様々な商品の値上げが続くとみられる。消費者1人当たりの購入点数の減少、ロープライズゾーンの売上拡大が続いていることから、消費者における生活防衛意識の高まりを感じている。 |
| ▲ | 乗用車販売店（従業員） | ・今月は決算の特需はあるが、3か月後は閑散期になるため、売上はやや落ちる。 |
| ▲ | 乗用車販売店（役員） | ・中東情勢による燃料や販売商品、各種部品の高騰が、客の消費マインドにどれくらい影響を与えるのか、心配している。 |
| ▲ | 乗用車販売店（総務担当） | ・中東情勢が不安定であるため、原油価格の高騰を懸念している。 |
| ▲ | その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（支配人） | ・流行しているシールの特需が長続きするとは考えられず、前年からのヒット映画の売上水準には届かないと考えている。キャラクター商品などの雑貨アイテムの流行が新たに生まれることに期待しつつも、今は特需に湧いているに過ぎず、景気はやや悪くなる可能性が高い。 |
| ▲ | その他小売の動向を把握できる者 [ショッピングセンター]（統括者） | ・原油価格の変動が消費生活に与える影響を考えると、賃上げがあっても実質賃金と中小零細企業の賃上げが生活を改善するほどではないと推測している。インバウンドは円安が進行して好影響を及ぼしているが、現状維持から大幅に上がるとは予測できない。 |
| ▲ | 観光旅館組合（職員） | ・物価高やガソリンの価格高騰などで先行きが不透明なことから、その影響が出てくる可能性が考えられる。 |
| ▲ | 観光型ホテル（営業） | ・3月の来客数は一時的に良かったが、今後の状況は今一つと判断している。 |
| ▲ | 観光型ホテル（支配人） | ・物価高騰が大きく影響しており、今後の予約も前年と比べ減少しているため、利益を圧迫すると懸念している。 |
| ▲ | 旅行代理店（職員） | ・対面カウンター事業を撤退させたことにより、販売量が低下していくことが懸念される。 |
| ▲ | 旅行代理店（統括者） | ・中東情勢に関する影響が大きく出てくると懸念している。 |
| ▲ | 通信会社（業務担当） | ・新電力の営業では、イラン情勢の影響が出てくると予想されるため、先行きは不透明である。 |
| ▲ | 観光名所（職員） | ・石油価格の高騰が続くと様々な物が値上がりし、景気低迷のおそれが危惧される。 |
| ▲ | ゴルフ場（従業員） | ・中東の原油に関する問題が長引けば更なる悪化が懸念される。 |

| | | | |
|----------------------------|---|---------------------------------|---|
| | ▲ | 理容室（経営者） | ・客は年度末で仕事が忙しくなる。美容業界では、客が就職や進学などで転居した場合、減少した来客数は2～3か月は戻らないため苦しい状態になる。 |
| | ▲ | その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当） | ・暫定税率の廃止に伴うガソリン価格の低下で訪問介護事業の移動コストの減少を期待していたが、中東情勢の影響によりホルムズ海峡が閉鎖となり、ガソリン価格はそれ以上に高騰している。また、石油を原料とする手袋等の消耗品も手薄感が出ており、経営やサービスに大きなマイナスとなっている。 |
| | ▲ | 設計事務所（所長） | ・今月は、打合せ等の資料が少ないため、3か月後の景気は今日よりやや悪くなる。 |
| | ▲ | 設計事務所（代表） | ・金利上昇による買い控えが続く。 |
| | × | 一般小売店〔生花〕（経営者） | ・5月には母の日があり需要はあるが、3月と比較すると売上が落ちると予想している。 |
| | × | 百貨店（営業担当） | ・公共料金や原材料の値上げが要因となり、売上が悪くなる。 |
| | × | 百貨店（経営企画担当） | ・原油価格の高騰による影響のため、購買力の低下や、輸送費、光熱費等のコスト増加が見込まれる。 |
| | × | 衣料品専門店（店長） | ・客は様々な価格が上昇する状況を見極めるため、景気が良くなるとは考えられない。 |
| | × | 家電量販店（店員） | ・今後の急激な物価高に直面し、消費者の考え方に変化が出てくる。 |
| | × | 高級レストラン（経営者） | ・原油価格が上昇し、情勢が落ち着いていないため、接待などの会食の動きは少なく、先行きは良くないと判断している。 |
| | × | スナック（経営者） | ・中東情勢の影響により、ガソリン価格の上昇や物価上昇、先行き不安などの理由により、消費行動が節約モードに入り、法人団体客も減少すると考えられる。 |
| | × | 美容室（経営者） | ・6月は梅雨に入りイベントもなく、物価高の影響によりおしゃれに金を使う人がかなり減る。そのため、売上が減少し、今後の生活が危惧される。 |
| | × | 設計事務所（所長） | ・中東情勢の混迷がいつまで続くのか不透明であるが、エネルギー関係や石油化学製品への影響が大きく、生活必需品への影響も無視できない。 |
| | × | 住宅販売会社（従業員） | ・現状では、株価などマーケットには影響はないが、石油価格の上昇が激しくなると予想される。そのため、国内の景気は、生産調整や価格転嫁などで商品が売れず景気が悪くなっていく。 |
| 企業 動向 関連 (九州) | ◎ | 電気機械器具製造業（経営者） | ・更なる受注増加を見込んでいる。 |
| | ○ | 家具製造業（従業員） | ・4月以降は徐々に案件情報が増えつつあり、プロジェクトの規模も比較的大きくなっている。 |
| | ○ | 電気機械器具製造業（取締役） | ・来期は賃上げもあるが、それ以上に当社の取扱製品や商品の販売見通しが強気となっている。 |
| | ○ | 電気機械器具製造業（総務担当） | ・顧客メーカーの売上予測によると、景気はやや良くなる。 |
| | ○ | 輸送用機械器具製造業（営業担当） | ・中東情勢の影響を除けば、新規車両の生産台数が大きく増えることになり好調な見通しとなる。 |
| | ○ | その他製造業〔産業廃棄物処理業〕 | ・現状の生産量から更に上向きの予想があり、原油の価格が落ち着けば更に好調になりうると考えている。 |
| | □ | 化学工業（総務担当） | ・当面の間、現状の損益状況が続くと想定される。 |
| | □ | 一般機械器具製造業（経営者） | ・景気の先行きは不透明であるが、新年度には客の動きや生産計画、材料費、入荷状況、半導体需要などにおける課題が改善され、動きが変わってくると予想されるため、若干状況が良くなることも考えられる。 |
| | □ | 輸送業（従業員） | ・原油価格の安定や日中関係改善などの問題が山積しており、解決の糸口がみえない。 |
| | □ | 通信業（職員） | ・来年度の受注目標と比較すると、営業件数や情報が不足している。今後の営業活動及び情報収集で充当できると考えているが、受注量が目標を超えて大きく好転する要素も現時点では見当たらない。 |
| | □ | 通信業（統括者） | ・サイバーセキュリティ対策等への対応を怠るリスクの大きさが、投資を後押しする要因となっている。一定の需要が続く見通しではあるが、当面は慎重姿勢が続くとみられる。 |

| | | | |
|------------------|-------------------------------------|--------------------------|--|
| | <input type="checkbox"/> | 通信業（経理担当） | ・新政権の経済対策による直接的な影響は現時点ではないが、既存顧客からの底堅い引き合いがあり、当面は今の景況感が続くと思われる。 |
| | <input type="checkbox"/> | 金融業（経営者） | ・会員増加の改善策を検討しているが、成果があっても横ばいで推移すると予想している。 |
| | <input type="checkbox"/> | 金融業（調査担当） | ・中東情勢により、原油価格の上昇が懸念され、影響を受ける事業者が出てくる。 |
| | <input type="checkbox"/> | 金融業（調査担当） | ・景気は現状と同程度で推移すると見込まれるが、中東情勢の緊迫化によって、地元経済では先行きへの不透明感や物価上昇の圧力が強まっており、混乱が長期化すれば景気は下振れするおそれがあると推測している。 |
| | <input type="checkbox"/> | 広告代理店（役員） | ・中東情勢によるリスクが、景気の悪化要因となり得る。 |
| | <input type="checkbox"/> | 経営コンサルタント（社員） | ・節約する家庭が増えている。 |
| | <input type="checkbox"/> | 経営コンサルタント（代表取締役） | ・自社Webのアクセス数や問合せ件数に変化がない。 |
| | <input type="checkbox"/> | 経営コンサルタント（社員） | ・この3か月間ダイレクトメールを発送しているが、ほとんど反応がないため今後を危惧している。 |
| | <input type="checkbox"/> | その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役） | ・現時点での市町村の新年度の予算公表をみると、高齢者の介護や障がい者の福祉に関する計画策定の業務が見直しのため予算化されている状況にあるが、受注が見込めていないため景気は変わらない。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 農林水産業（経営者） | ・4～5月の動きは2～3月と比較するとかなり良いと予想していたが、中東情勢の影響から石油製品の値上がりなどが想定される。悪い条件が重なるため、消費者心理は守りの姿勢に入り冷え込むとみられる。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 出版・印刷・同関連産業（営業担当） | ・取引先が主に自治体であるため、当初予算の確定までは購入手続に入らない。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 金属製品製造業（事業統括） | ・原油価格の高騰により景気はやや悪くなると見込んでいる。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 一般機械器具製造業（経営者） | ・取引先の話では、今後の先行きは不透明で危惧している。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 輸送業（従業員） | ・原油価格の動向で変化があるとみられるが、販売価格が大きく上昇する可能性があり、動きは低下していく。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 輸送業（総務担当） | ・原油価格の高騰により買い控え、外出控えが予想され、様々な方面で悪影響がみられ、物流においては直接的な経費が上昇する。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 金融業（営業） | ・慢性的な物価高が、中東情勢の影響により一層高騰する可能性がある。今春の賃上げを大きく上回れば、景気は悪くなる。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 金融業（営業担当） | ・イラン情勢次第ではあるが、借入金の金利や人件費、物価上昇などの状況に変わりはなく、今後の事業者の活動は下降気味になると予想される。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 不動産業（経営者） | ・現状では、今後の仕事の受注等が余り芳しくないため、景気は回復しないと予想している。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 新聞社〔広告〕（担当者） | ・世界情勢の影響で、景気はやや悪くなる。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 広告代理店（従業員） | ・世界情勢の変化が拡大傾向にあるため、今後も物価は押し上げられ、生活は更に苦しくなる。当社の業績についても悪化が続いており、3か月後も景気はやや悪くなる。 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> | 繊維工業（営業担当） | ・海外生産にシフトしていくメーカーが多くなっており、国内工場では少なくなった仕事を取り合っている。 |
| 雇用 関連 (九州) | <input checked="" type="checkbox"/> | — | — |
| | <input type="checkbox"/> | 人材派遣会社（社員） | ・4月からの料金改定も順調でスタッフ給与も上がり、新規注文についても新年度の賃金テーブルに合わせた見積金額が順調に承認され、支払や請求どちらも単価上昇が見込まれる。 |
| | <input type="checkbox"/> | 人材派遣会社（社員） | ・求人関係のバランスに関して、早くから情報把握をすることで、先付けの求人情報とスタッフの動きを把握しているため、2～3か月後には新しい動きがある。 |
| | <input type="checkbox"/> | 人材派遣会社（社員） | ・新卒採用により企業の人員は一時的に充足しているが、例年、早期離職も一定数発生しており、欠員補充の依頼があると見込まれる。人材需要は安定的に存在するものの、新規増員というより補充ニーズが中心となっており、需要の総量としては大きな伸びはない。 |

| | | |
|---|----------------|---|
| □ | 人材派遣会社（社員） | ・求職者数は、依然として前年割れを起こしており、今後も大きな改善は見込まれない。 |
| □ | 新聞社〔求人広告〕（社員） | ・気候が良くなるにつれ、景気に期待感を持っている。 |
| □ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・グローバル化のなか、中東情勢や円安などの国際情勢の影響を国内の景気動向だけでは計れないが、国内での影響はまだ少ない。採用面でも正社員の求人数が増え、採用の質が問われる局面に入っている。 |
| □ | 職業安定所（職員） | ・現時点でガソリン価格の急騰による大きな影響はないが、今後の情勢を不安視する声が多く聞かれるため、注視していく必要がある。 |
| □ | 職業安定所（職員） | ・人手不足が続き、採用意欲に大きな変化はないが、原油価格の高騰等によって管内事業所にもたらされる影響が不透明である。 |
| □ | 学校〔大学〕（就職支援業務） | ・物価高騰への懸念や国際経済の不確実性がますます高まり、景気が上向く実感がない。 |
| ▲ | 新聞社〔求人広告〕（担当者） | ・ガソリン代などが高止まりし、中東情勢の影響にもよるが、今後使用量の節減などが求められた場合、企業や消費者の活動量が鈍化するとみられる。その他の物価への影響も考えられ、消費活動も買い控えや様子見になるものと推察される。 |
| ▲ | 学校〔専門学校〕（就職担当） | ・物価上昇や消費控え、企業のコスト増加等の要素が重なり、徐々に影響が出てくる可能性が高い。 |
| × | — | — |